



高輪台 11月号



港区立高輪台小学校

〒108-0074 東京都港区高輪2-8-24 <http://takanawadai-es.minato-kyo.ed.jp/>
TEL: 03(5447)0616 FAX: 03(5447)5335

㊦くましく ㊧しこく ㊨かよく ㊩くわくする ㊪れにとっても ㊫ごちのよい 小学校

令和6年度 授業改善推進プランより

校長 森 勇人

港区立小中学校は、さらなる授業の充実と、児童・生徒の学力向上を目指し、「授業改善推進プラン」を作成しています。これは、児童・生徒の学習状況の把握に基づいて、【育成を目指す資質・能力】【全国学力・学習状況調査、学習評価等の結果に基づく課題】【資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫】について検討し、指導の方針として示したものです。高輪台小学校の授業改善推進プラン（以下、「プラン」とします）を学校ホームページに掲載しておりますので、詳細については、御覧いただければ幸いです。ここでは、教科等の要となる国語科について取り上げます。

国語科の目標は「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を（中略）育成することを目指す。」となっています。今年度、私は、学校経営計画の中で「言葉にこだわる」という表現を使用していますが、プランの【育成を目指す資質・能力】にある「言葉を手掛かりとしながら論理的に思考する力や豊かに想像する力」「言葉がもつよさを認識する力や言語感覚」は、まさにこれに合致します。

【全国学力・学習状況調査、学習評価等の結果に基づく課題】については、全国・東京都の平均とともに上回っていますが、漢字の定着、文章を書くことの2点が課題として見えてきました。特に後者については、素晴らしい考えや意見を他者に伝えるためにもぜひとも伸ばしたい力です。

以上の分析から、【資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫】として次の8点を挙げます。

- ① 子どもが学びを自分事として捉えられるような学習設定をすること
- ② 学習の系統性を意識した指導を行うこと
- ③ 漢字を身近に感じられるような仕掛けを工夫すること
- ④ 言葉を意識的に取り扱うこと
- ⑤ 日常的に文章を書く機会を確保すること
- ⑥ 子どもが主体的に文章を書くような工夫を行うこと
- ⑦ 個別指導、スモールステップを効果的に取り入れること
- ⑧ 学校図書館を活用し、読書活動の充実を図ること



③や⑥といった上述の課題については、ICTの活用が有効だと考えています。特に、1人1台タブレット端末は、書くことに抵抗を感じている児童にとって、親和性の高いツールだと考えています。従来の紙と鉛筆では表現できなかった意見や考えをキーボード上で引き出すことで、書くことに対する抵抗感を取り除くことにつながることができます。漢字学習についても書き順ナビといったツールを使うことにより、意欲的に学ぶことができます。もちろん、全てをICTで行うというわけではなく、その効果的な活用についても、引き続き検証していく必要があります。

今後も、全教員が、国語科のみならず全ての教科等のプランを確実に理解し、これまで以上の授業の充実を図ってまいります。

お知らせ

バスケットボールスペース運用開始

子どもたちの活動場所を広げるため、校庭の東側を整備して、新たにバスケットボールゴールを2基設置しました。10月から休み時間には青色のバスケットボールスペースで遊ぶ姿が見られています。



開校90周年記念式典

11月16日(土)は来賓の方々をお迎えして、開校90周年記念式典が行われます。児童を代表して、6年生が参列します。16日は1年生から5年生はお休みとなります。全児童が祝いする児童集会は8日に実施予定です。

授業参観保護者会予定

日時:11月28日(木)3年・5年・あじさい

:11月29日(金)2年・6年

:12月2日(月)1年・4年

5時間目 授業参観 終了後 保護者会

11月の目標

力を合わせて仕事をしよう

生活指導部

11月の目標は、「力を合わせて仕事をしよう」です。学校生活では、みんなで協力して仕事をする場面がたくさんあります。例えば、給食・掃除などの当番活動、学級を楽しく過ごしやすいするための係活動などがあります。高学年になると、委員会活動においても、学校生活に必要な様々な仕事を担当し、学校全体のリーダーとして活動します。

学校は集団生活の場です。集団や組織の中で、そこに必要な役割に責任をもって取り組む力や互いに助け合って仕事をする力は、これから子どもたちが成長して社会に出たときにも必要になる大切な力です。一人一人が自分の役割に責任をもって仕事に取り組むことが、集団としての大きな力となり、より楽しく充実した学校生活につながります。友達と助け合いながら、すすんで生活ができるように指導していきます。

ぜひご家庭でも、お子さんに家庭生活に必要な仕事や役割を任せ、頑張って取り組むことができたときには大いにほめてあげてください。それがまた次へのやる気につながると思います。

水泳記録会・連合運動会

6年生担任 大久保 潤一 薄井 星児 南出 葉子 井田 大夢

☆水泳記録会☆

9月5日(木)に、水泳記録会を行いました。今年の夏は暑さが厳しく、水泳の授業が計画的に進まないこともありました。当日も暑さ対策を行い、一人ひとりが全力を尽くして泳ぎました。

6年間の集大成として記録に挑戦する子、友達の頑張りを応援する子など、自分や友達の成長を確かめるよい機会となりました。



☆連合運動会☆

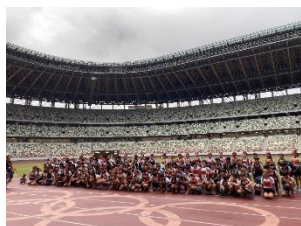
10月3日(木)に、国立競技場で行われた連合運動会に参加してきました。天気が心配されましたが、閉会式に小雨が降った程度で、競技は無事進行できました。ご多用の中、応援に来てくださった地域・保護者の皆様、本当にありがとうございました。以下は、児童の感想です。

・長縄では、他の学校より多く跳ぶことはできなかったけれど、156回という今までの中で最高の記録を出すことができました。クラスみんなで数を数えて、団結できたと思います。

・この連合運動会で学んだ「みんなと協力してよい結果を出せるように努力すること」や「応援したり目標に向かって頑張る楽しさ」をこれからの生活に生かしていきたいと思いました。

・国立競技場に行ったことがなかったので、初めてグラウンドに立った時に、広いグラウンドとオリンピックのマークを目にし、すごい場所に立っていると実感しました。もう2度と立つことがないかもしれない国立競技場と思って緊張しましたが、今までの練習を思い出して全力を出しました。

・国立競技場の作りについて知ることができました。座席の色を変えることで人がいるように見せる効果があることを知るなど、様々な工夫が面白かったです。走り高跳びでは思った以上の結果を残せませんでした。友達が記録に挑戦している姿を見て嬉しかったです。



ふれあい月間

生活指導担当

東京都では、いじめや不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止や早期発見・早期対応等につながる具体的な取組を推進することを目的とし、6月と11月、2月を「ふれあい月間」としています。6月のふれあい月間との違いは、11月という時期が1年の折り返しを過ぎているという点にあります。進級して半年過ぎ、徐々に友達とのかかわりに変化が生まれてくる時期には、トラブルも生じることもあります。その芽に早期に気付けるように、今一度、友達とのかかわりについて考えていくことが重要と考えます。

本校では、一人ひとりの子どもの心を受け止め、学校を安心して生活できる場にするために以下の取組を行います。

- ①いじめ防止の道徳授業を実施
- ②GIGA ワークブックとうきょうを活用した、SNS についての授業を実施
- ③学校生活アンケートの実施(毎月)

道徳や学級活動でいじめ防止や SNS について学習することを通して、自他の生命の尊さや人への思いやりの気持ちについて学級で話し合う機会を設け、規範意識や正義感を育てていきたいと思ひます。

全学年で毎月実施している学校生活アンケートを基に必要に応じて面談を実施したり、年2回、4年生以上で実施しているWEBQU アンケートの結果を活用し、個人の内面、学級集団の状態、学級と個人の関係について理解を深めたり問題行動への早期対応を行います。児童の現状を理解し、解決策を明確にし、教職員も自らの指導に対する振り返りを行います。学校が全ての児童にとって安心して過ごせる場であり続けられるように、日々努力をしていきます。日々のお子さんの様子などで何か気になることがありましたら、各担任までご相談ください。



90周年記念 合唱発表会

音楽専科 坂田 明子

今年の合唱発表会は、「聴いて 感じて 音楽でつながろう」をスローガンに

頑張りました。全学年が互いに聴き合い、他学年の歌や表現に触れることで、学び合えるよう、児童鑑賞日も2日間設定し、聴き合えるようにしました。今年は9月開催という、タイトなスケジュールでしたが、子どもたちは頑張ってくれました。保護者の方々からも、「夏休み中、おばあちゃんの家で歌っていました。」「お風呂の中で楽しそうに口ずさんでいました。」などのお声や、発表会の後、「感動しました。」「楽しかったですよ。」などのお声をたくさんいただきました。誠にありがとうございます。保護者の皆様の、ご家庭での励ましが支えとなり、子どもたちが伸び伸びと歌うことができたのだと思います。選曲は、各学年の個性を最大限に生かせるようにと願い、担任とも何度も話し合いながら決定したものです。指揮もなるべく担任にお願いしました。教職員と児童の一致団結した合唱発表会へのご協力ありがとうございました。5・6年生は最後の発表会でしたが、今回の学びを中学校で生かしてくれると信じています。4年生までの学年は、次は2年後です。さらに成長した姿を楽しみにしていきましょう。



～各学年の感想～

(1年生)	〇めあてがちゃんとできました。いつもよりすぐとどきしました。いっしゅんの時間だったけど、すごく楽しかったです。 〇緊張したけど、最後まで大きい声で歌えて良かったです。拍手がうれしかったです。
(2年生)	〇少し緊張したけれど、大きな声できれいな声も出して練習の成果を出すことができたので、とても素晴らしい発表会になったと思います。 〇みんなで息を合わせて歌うことができたので嬉しかったです。大きな声を出して歌うことができました。家族から「すごかったよ。」と言われて嬉しかったです。
(3年生)	〇私は、つばめをがんばりました。最初の頃の練習はずれてしまうことがあったけど、練習をしているうちにずれないように歌えるようになりました。 〇手話と一緒に歌を頑張ったり、ツバメのお話をするように歌ったりすることを意識しました。がんばったところをお客様に見てもらって嬉しかったです。
(4年生)	〇息を吸って、明るくひびく声で歌えたので、4年生らしい声が出せました。この4年生での合唱発表会を高学年の第一歩として、6年生での合唱発表会に繋げたいです。 〇体育館全体に聴こえる大きな声で歌えました。横を向かずに、息をしっかりと吸っていい声が出せました。聴いている人に伝わるように、気持ちを込めて歌えました。
(5年生)	〇体育館の中いっばいに声をひびかせることができました。口も大きく開けて、聴いている人が感動するように歌えました。can do は、高音を出して、優しい音ができるように気を付けることができました。 〇ソプラノは、本番までに大きな声で歌えるようになりました。怪獣のバラードは、アルトに引っ張られずに速さに気を付けました。最後の合唱発表会、上手にできました。
(6年生)	〇本番では、練習の時よりも声が出せてよかったです。家族も「すてきに歌えていたよ。」と言ってもらったので練習から頑張ってきたよかったです。 〇最高学年としてふさわしい態度で最後の合唱発表会に臨むことができました。私はソプラノだったので、アルトにつられずに歌うことができました。少し緊張したけど、最後までお客様に届けられるように歌うことができてよかったです。

